

IKERU
NONOICHI



三崎大地・太田魁

漂着する風景

Drifted Landscapes

2026_7/3 fri
____7/19 sun

国指定重要文化財 喜多家住宅



会場 | 国指定重要文化財 喜多家住宅 (野々市市本町3丁目8-11)
入場料 | 大人 400 円 高校生以下 200 円 ※未就学児無料
開館時間 | 9:00-17:00 ※最終日は14:30まで 休館日 | 月曜日
主催 | (一社) 野々市市観光物産協会 問い合わせ | 076-248-7332

松本一哉・太田魁
ライブパフォーマンス
7/19 [日] 15:00-
要事前申し込み

「漂着する風景」展では、三崎大地と太田魁が、それぞれ異なる方法で、自然と時間、風景と身体の関係を見つめ直します。

三崎は、種子や流木、貝殻など漂着した自然物を用い、風や重力に応答するモビール作品を制作しています。太田は、漆芸を基盤に、乾漆や自然素材を通して、積み重なる時間や静かな気配を空間の中に立ち上げます。

会場となる国指定重要文化財 喜多家住宅には、長い年月を経た光や風、暮らしの記憶が今も静かに息づいています。二人の作品は、この場所に漂着した風景のように、建築に流れる時間や気配と呼応しながら、人と自然の関係をゆるやかにつなぎ直していきます。



三崎大地 Daichi Misaki

1985年生まれ 金沢市出身 モビール作家

海辺で拾い集めた羽、貝、種子、流木などの漂流物を、揺らぐオブジェ（モビール）として表現している。

浮遊する漂流物は、過去から現在に至る時間と空間の広がりを想起させ、風や重力の力を借りて揺らぎ、刻々と変化する「今」を感じさせる。



太田魁 Kai Ota

1997年生まれ 京都府出身 漆芸作家

水の流れる音を模した創作楽器『水環琴（みなわのこ）』の制作・演奏を始め、葉や樹皮など自然の表情を写したうつわを制作している。自然の中にある大きなめぐりと日常の中での小さな気づきを作品に落とし込もうと試みており、演奏会や茶会など、実践の中で表現を探っている。

松本一哉・太田魁 ライブパフォーマンス

7/19 [日]

14:30 受付 / 15:00 開始

料金 2,000 円 高校生以下 500 円 ※20名限定

サウンドアーティスト松本一哉・太田魁によるライブパフォーマンスを行います。即興で鳴らされる音表現が、歴史深い喜多家住宅の空間に呼応します。



松本一哉 Kazuya Matsumoto

音楽家・サウンドアーティスト・ドラマー

環境ごとにあるモノ・造形物・自然物・身体など、本来楽器では無いモノも用いて多様な音表現を行う。自身で起こす音と場所毎に偶然に起こる環境音とが渾然一体となるように働きかけていき、日常の聴き慣れた事象に新たな切り口を与え、音に没入させる即興表現を追究している。



申し込みフォーム